

## 生駒市市政顧問が従事した職務の遂行に係る情報

議題	先端大(NAIST)との連携
日時	令和7年7月25日(水) 10:30 ~ 12:00
場所	地下オンラインブース(市政顧問はオンライン参加)
出席者	市政顧問 SDGs・公民連携推進課長、CDO、企画政策課企画官
主な意見 (概要)	<p>・NAISTとの今後の連携を有効に進めていくためには、NAISTが進めるJ-PEAKSの取組を成功させるために市としてどういう連携をしていきたいのかを考える必要がある。例えばJ-PEAKSの事業とNAISTの学長ビジョン、生駒市のビジョンを掛け算して、学術研究都市と一緒に創るというような大きい連携の姿を描くということ。</p> <p>※J-PEAKS:地域中核・特色ある研究大学に対し、強みや特色ある研究力を核とした戦略的経営の下、研究活動の国際展開や社会実装の加速・レベルアップの実現に必要な環境構築の取組を支援する事業。</p> <p>・NAISTとの連携のロードマップは、連携した研究開発のプロトタイプが一定出来上がった状態で、そこに必要な要素が全部見えている状態にまで持っていくというところをゴールに置いておいた方が良い。</p> <p>・SDGsと公民連携の担当に地域課題が集まり、一緒に何が協創できるかを考えているのならば、そこからしっかりと吸い上げを行ってNAISTとの連携のロードマップに入れていけば良い。</p> <p>・ふるさと納税の使途となるNAISTの活動支援については、ロードマップ上の取組に関しては何にでも使えるようにしておくことが大切。その上で取組のプライオリティに合わせて寄付金を充てていくというルールをつくっておくのが良いのではないか。</p>